

医療・介護・福祉におけるアートとデザイン

第23回 ひと・健康・未来
シンポジウム2019 京都



2019年7月28日(日) 13時から16時50分

メルパルク京都5F (JR京都駅徒歩2分)

福間 真悟

京都大学医学研究科 人間健康科学系専攻
京阪神次世代グローバル研究リーダー育成コンソーシアム 特定准教授

森下 静香

Good Job!センター 香芝センター長

森 合音

四国こどもとおとなの医療センター アートディレクター
NPOアートプロジェクト代表

辰巳 明久

公益財団法人ひと健康未来研究財団 理事
京都市立芸術大学美術学部 美術研究科教授

医療・介護・福祉における アートとデザイン

近年、医療・介護・福祉分野でアートやデザインを積極的に取り入れる動きが増えています。今回のシンポジウムでは、各領域での導入事例をみながら、アートやデザインを取り入れる意義について学ぶ機会したいと思います。

主催：公益財団法人ひと・健康・未来研究財団
後援：京都府・京都市・京都市教育委員会・京都市社会福祉協議会・京都新聞

IOTとアートによる幸せな老いのデザイン

福間 真悟 京都大学医学研究科人間健康科学系専攻
京阪神次世代グローバル研究リサーチ育成コンソーシアム特定准教授



高齢者の幸せな老いを支えるには、健康や身体機能の維持が重要な役割を持っています。IoTデータを高齢者の健康維持に活用する「てくてくビコンプロジェクト」についてご紹介し、プロジェクトデザインにおけるアートの役割についてディスカッションしたいと思います。

障害のある人と考える
アートやデザインを通じた新しいはたらき方

森下 静香 Good Job! センター香芝センター長



障害者福祉の分野においても、アートやデザインの可能性が着目されていますが、具体的にどのような協働のもとどのような実践が行われているかを、Good Job! プロジェクトや2016年にオープンしたGood Job! センター香芝の事例をもとにご紹介します。

「痛み」を「希望」に

森 合音 四国こどもとおとなの医療センターアートディレクター
NPOアートアッププロジェクト 代表



医療現場でどのようなアート活動が求められているのか。四国こどもとおとなの医療センターでの10年間の取り組みから、象徴的な事例をご紹介します。医療現場におけるアート活動の可能性についてお話しします。

アートとは？デザインとは？

辰巳 明久 公益財団法人ひと健康未来研究財団 理事
京都市立芸術大学美術学部 美術研究科 教授



社会の中で、アートとデザインという二つの言葉は幅広く使われています。この二つの言葉の概念について、できるだけ簡潔に説明し、アートとデザインの役割について探ってみようと思います。

会場

メル。パルク京都5F

京都市下京区東洞院通七条下ル
東塩小路町676番13



参加申込

参加無料

市民公開講座 定員250名

タイトルに「第23回シンポジウム申し込み」と明記の上、氏名(ふりがな)、連絡先(ファックス番号またはEメールアドレス)を添えて左記までお申し込みください。電話・ファックス・Eメールいずれの方法でも結構です。申込先：公益財団法人ひと・健康・未来研究財団事務局担当：森田直子
TEL&FAX：075-212-1854 hitokenkoumirai@jnhf.or.jp

